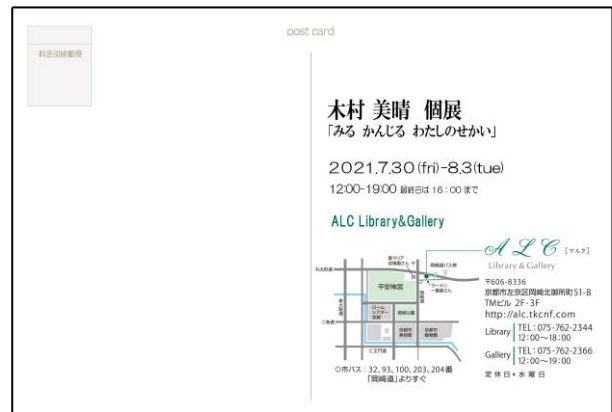


木村 美晴 個展 「みる かんじる わたしのせかい」

2021年7月6日(火)～7月18日(日) ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター1階メインロビー

2021年7月30日(金)～8月3日(火) ALC Library & Gallery (京都市左京区)

[展覧会案内はがき]



上：ピアザ淡海 / 下：ALC Library & Gallery

在学中から描き続けてきた作品たちを展示しようと2020年6月に個展を予定しておりましたが、コロナ感染拡大のため延期を致しました。当初は飲食店内での展示の予定をしておりましたが、感染症対策を行ううえで展示スペースまたはギャラリーでの展示となりました。

コロナ禍で沈んだ気持ちを華やかな色づかいの絵画で元気にしたいと思い、今回地元滋賀と芸術の町京都の二箇所にて個展を行いました。今回の個展は二箇所とも同テーマで構成されており、自分の作品をより多くの方に見てもらい、購入に繋げて貰うという意図の他、どちらかの展示場でしか見られない作品を楽しんでもらえるという意図で展示を行いました。

① ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター1階メインロビーにて



↑ 県民交流センター出入口
開館時間中は扉常時開放

← 出入口から入ってすぐ見える
展示スペース



記帳台には消毒用アルコール、マスクをせずご来場された方のためにお渡しする予備のマスクを常備し、ピアザ淡海さんでの展示のポストカード・ALC Library & Galleryさんでの展示のポストカード・今回の個展用名刺・作品集が置いてあります。

名刺には今回の個展のメインである作品が裏に印刷されているため、ご来場いただいた方に持って帰っていただくことで作品と作者を同時に覚えてもらうことができます。

[展示風景]



ク27「真夏の湖畔」 課 (077・561・2428)。

■ 滋賀

● 木村美晴個展「みるかんじる わたしのせかい」 18日まで、午前9時〜午後5時(最終日は午後3時まで)、大津市におの浜、県民交流センター(077・527・3315)。湖国出身の新進画家の個展。花や動物の印象を華やかな色彩で表現した油彩20点を披露する。

● 信楽花器と生花いけばな展 Part 2 19日まで、午前9時〜午後5時、甲賀市信楽町長野、市信楽伝統産業会館(0748・82・2345)。峰風遠州流の華道家が信楽焼の花器

● 4人展 20〜25日午前11時〜午後5時半(最終日は午後5時まで)、草津市大津、ギャラリー風の門(077・567・8574)。同ギャラリーゆかりの湖南、草津両市と日野町、京都府宇治市の若手アーティスト4人が手がけた油彩、アクリル画などを約30点。

「みるかんじる わたしのせかい」から

Gallery

パーティションとパーティションの距離を広くとり、ずらして配置することによって、どの角度からでも見やすく、人と人との接触が少なくなるようにしました。

このピアザ淡海さんでの会期中では、コロナワクチン接種のため来館されるお客様や会議のためご利用させるお客様もいらっしゃったため、展示目当ての方以外にもたくさんの方に絵画に触れていただく機会があり、とても嬉しく思いました。

また、読売新聞さんに取材いただきまして写真と共に展覧会情報を告知していただくことができ、より多くの方に見に来ていただくことが出来ました。

② ALC Library & Gallery さんにて



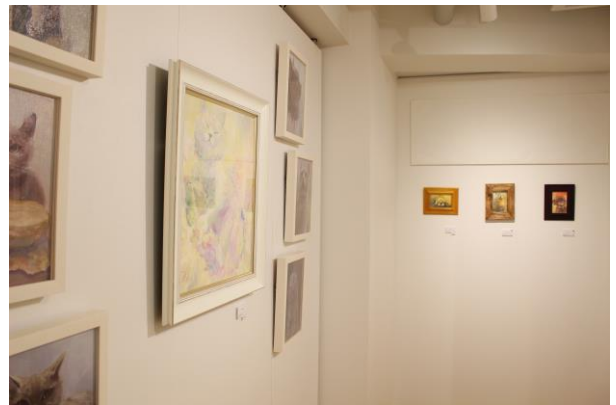
↑ 記帳台

← 3階ギャラリー入口扉

ALC Library & Gallery は2階が美術書等の図書館、3階がギャラリーとなっております。
3階ギャラリーの扉を開けると、突き当りには記帳台があり、消毒用アルコールを常備しております。
(予備マスクはバックヤードに有り)
ピアザ淡海さんでもペンは毎回消毒しておりましたが、こちらのギャラリーではペンの数も増やし、
消毒済み・使用済みと分けることで感染症対策を徹底致しました。



[展示風景]



矢印で指している○印…換気扇(24時間喚起)



○個展を終えて○

今回行った個展「みる かんじる わたしのせかい」は私の初個展でございます。

「花や動物など、それぞれモチーフとするものが、私というフィルターを通すとどのように見えるのか。みた瞬間の印象だけでなく、ひとつひとつの絵をじっくりと見ても想像を膨らませられるようなタイトルや描写になっています。コロナ禍で沈んだ心を、華やかな色彩を用いた絵画で笑顔にできますように。」

上記が、私が今回展示をするうえでご来場してくださる方々に伝えたメッセージです。

私の描く作品は、必ず絵のモデルやモチーフといった物があり、モチーフの形や色を追いながら、そのとき(描く時・写真を撮るとき・現場にいるときなど)感じた情景を色彩やタッチを使いながら表現することが多いです。そのため、完成した絵画は抽象・半抽象と化したものがほとんどになり、何が描いてあるのかが客観的にみるとわかりにくくなっています。しかし、モチーフと関連付けたタイトルをつけることによって観る人の想像力を膨らませ、且つ説明を付け加えることによって謎解きのような感覚を観る人にも持たせることができます。

通りすがりの近所の方、ギャラリーの常連の方、自身の招待した方、SNS や新聞で情報をみて着てくださった方、どのお客様も私の絵に興味を持って来てくださった、という事実はとても喜ばしいことであり、今後の作家活動の大きな糧となるでしょう。

今回記帳をしていただく際に、ご感想を賜ることができました。大変心の温まるものが多かったので、少しばかり紹介させていただきます。

「作品の大～小、油絵～水彩など幅の有る中で一貫した作者様の命へのやさしさ、配慮が感じられ、こちらまで優しい気持ちになりました。ありがとうございます。」

「色鮮やかな個展でとても気持ちが晴れやかになりました。力強さ、なめらかさ、美しさのあるすばらしい個展でした。」

「美晴さんの絵を見ていると元気をもらえて楽しいです。」

「どの絵も透明感があって素敵でした。物や景色が木村さんのフィルターを通すとこんなに彩やかな世界になるんですね。」

コロナ禍のなか、足を運んできてくださった方々に沢山のお褒めの言葉をいただけて嬉しく思うと共に、人を笑顔に、元気にできる絵が描けたこと。描ける環境にいること。個展を無事に開催することができたこと。その他いろいろなことに感謝したいと思います。芸術があるからこそ、人は笑顔でい続けられるのではないのでしょうか。そう感じずにはいられない個展になりました。

[作家プロフィール]

木村美晴

1996年 滋賀生まれ

2018年 京都市立芸術大学美術学部油画専攻卒業

2013年 京展 洋画の部 入選

2017年 二人展「Explore」京都市立芸術大学内小ギャラリーにて
グループ展「書、」京都市立芸術大学内大ギャラリーにて
京都学生アートオークション出品

2018年 京都学生アートオークション出品

第27回全日本アートサロン絵画大賞展 自由表現部門 入選

2021年 第30回全日本アートサロン絵画大賞展 自由表現部門 入選

2021年 個展「みる かんじる わたしのせかい」ピアザ淡海 県民交流センター1階メインロビー
にて

個展「みる かんじる わたしのせかい」ALC Library & Gallery にて

